長野県立信州医療センターだより

かがやき

第28号

- 病院長あいさつ
- 新転任医師の紹介
- 大腸がんについて
- 内視鏡センター（消化器内科）を受診しましょう
- 大腸内視鏡検査のご案内
- 外来診療担当医表

東棟2階 内視鏡センター

私たちは、患者中心のチーム医療を実践し、
信頼される病院を目指します。

地方独立行政法人 長野県立病院機構
長野県立信州医療センター

病院長あいさつ

病院長 竹内敬昌

須高地区の皆さんには、日頃より当院の運営にご支援・ご協力いただき、ありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。院外広報誌「かがやき第28号」をお届けいたします。ご一読いただけると幸いに存じます。

コロナ感染症は、下火になったとはいえ年間を通して少なからず発生しており、また昨年度は12月から2月までインフルエンザが大流行して、それに伴う肺炎での入院需要が著しく増加するなど、感染症につきましては毎年のように大きな問題となっております。当院は感染症の県内の拠点病院として近隣医療機関や保健所とも連携して、今後も地域および県全体の感染症対策に貢献するという大きな役割を果たしてまいります。

国の調査によりますと、令和7年には3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になると試算されています。また日本人のみの出生数は、平成の前半は120万人程度でしたが、まもなく公表される令和6年の数値は初めて70万人を割り込む可能性が高いと予想されています。このように少子高齢化が予想以上に急速に進む中、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療・介護・福祉が一体となった「地域包括ケアシステム」の構築が不可欠です。当院は、急性期医療を担う病院として、救急医療や高度な治療を提供するとともに、回復期や在宅医療への円滑な移行を支援し、地域の医療機関・訪問看護・福祉介護施設・行政と密接に連携を図ることで、地域社会との結びつきを一層強化して安全・安心な医療を提供し、切れ目のないケアを実現してまいります。

また、未来を担う子どもたちの健康を守るため、須坂市の多大なご協力により、水曜日と金曜日の午後に予約無しでの受診が可能な一般小児科外来を開設いたしました。このような取り組みにより、すべての世代の住民の皆さんが健やかに過ごせる地域づくりに貢献してまいります。

施設・設備面では、今年度中に病院の総合医療情報システムの更新に合わせて、多くの要望が寄せられておりました院内のWi-Fiの拡充、外来の番号呼び出しの整備を進めてまいります。

コロナ禍を経て、病院経営を取り巻く環境はますます厳しくなっており、昨年度の収支は一昨年度に続き、当院単独でも県立病院機構全体でも大きな赤字決算となりました。今後も継続して当院の使命を果たしていくためには安定した経営基盤が必須です。今後人口が減少していく中でいかにして経営を改善していくか、大きな課題であり、さまざまな対策により目に見える成果が求められています。このような状況ではありますが、今後も地域の皆さん一人一人が最適な医療を受けられるよう努めてまいります。これからも私たちの取り組みをご理解いただき、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新転任医師を紹介します

4月から新たに4名の医師が加わり、新体制でスタートしました。

血液内科 植松（うえまつ） 望武（のぞむ） 医師

● 専門を選んだ理由

治療開発のスピードが早く、新しくて有効な治療を患者さんに届けることができるから。

● 地域の皆さんへ一言

以前もお世話になった信州医療センターで再び働くことができて嬉しいです。最新の治療を提供できるよう日々精進していきます。

消化器内科 石黒（いしぐろ） 翔子（しょうこ） 医師

● 専門を選んだ理由

多彩な疾患の診療に携われること、内視鏡や超音波などの検査によって診断だけでなく治療まで行えることに魅力を感じたからです。

● 地域の皆さんへ一言

地域の皆様が安心して受診できるように真摯に向き合って診療して参ります。よろしくお願いいたします。

麻酔科 浦澤（うらさわ） 方聡（まさとし） 医師

● 専門を選んだ理由

患者さんの生命維持に直接関わる仕事にやりがいを感じられたり、麻酔の学問的な幅広さや奥深さに惹かれたからです。

● 地域の皆さんへ一言

皆さまが安心して手術を受けたり、痛みから解放されることに、少しでもお役に立てればと思っております。

麻酔科 笠間（かさま） 進（すすむ） 医師

● 専門を選んだ理由

不真面目な学生が珍しく出席した麻酔科の講義で清野誠一教授が「（気管）挿管できなければ医者ではない」と仰ったのを真に受け技術習得のため選びました。

● 地域の皆さんへ一言

自称・日本一の麻酔科医です。なにが日本一かは聞いてはいけません。

今年度入局した初期研修医を紹介します

当院スタッフと一緒に立ち会うことがあります。皆さんの温かいご理解とご協力をお願いいたします。

大野（おおの） 杏一（きょういち） 医師

4月から長野県立信州医療センターに入職いたしました。出身大学は富山大学です。精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

瀬下（せしも） 結（ゆい） 医師

まだ慣れない環境で不安もありますが、みなさんに頼ってもらえる存在になれるよう努力していきます。よろしくお願いします。

田中（たなか） 智大（ともひろ） 医師

今年度から長野県立信州医療センターで働かせていただく研修医の田中智大です。地域の皆様に信頼していただけるよう精一杯頑張ります。

丸山（まるやま） 航平（こうへい） 医師

皆様のお役に立てる医師を目指し、これから日々研鑽を積んでまいります。長野県立病院機構の一員として、地域医療の現場で多くを学ばせていただきながら、皆様の健康と笑顔を守れるよう全力で取り組みます。

和田（わだ） 岳幸（たけゆき） 医師

4月から研修医としてお世話になります。須高地域の皆さまに貢献できるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

大腸がんについて

内視鏡センター顧問 赤松泰次

●増加している大腸がん

近年わが国の大腸がんは肺がんとともに増加傾向を示し、臓器別にみるとがん罹患数（がんになった患者数）が第1位、がん死亡数は第2位を占めています。一方胃がんは、ピロリ菌感染者の減少や除菌治療によって減少してきています。

●自覚症状では手遅れに？検診が重要です

大腸がんが発見されるきっかけには、①一般診療（自覚症状の出現）、②便潜血検査による大腸がん検診、③直接大腸内視鏡検査で検診する、の3つがあります。大腸がんによる症状は病変部位によって異なりますが、血便、急に出現した便秘、腹痛、貧血などが主な症状です。このような自覚症状が現れた状態で発見された大腸がんはかなり進行していることが多く、進行の程度によっては治癒しない（いわゆる「手遅れ」）ことが少なくありません。

●便潜血検査を受けましょう

一方、便潜血検査による大腸がん検診は比較的早い段階で発見でき、多くの症例が適切な治療によって治癒します。また、大腸がんの予備軍と考えられている大腸ポリープもしばしば発見されます。大切なことは便潜血検査を毎年行うこと、陽性となった場合には必ず精密検査（大腸内視鏡検査）を受けることです。便潜血検査が陽性であっても必ず病変が見つかる訳ではありませんが、「痔によるものだろう」と自己判断して精密検査を受けなかった受診者の中に「手遅れ」となった残念なケースがあります。

これに対して、直接大腸内視鏡検査で検診を行えば大腸がんを初期ないし早期の段階で発見することができ、内視鏡治療や外科手術で治癒します。

●定期的に検査を受けましょう

大腸がんリスクが高い人（近親者に大腸がんの人がいる方、大腸ポリープや大腸がんの既往がある方、潰瘍性大腸炎やクローン病の患者さん、特殊な遺伝性疾患のある方など）は大腸内視鏡検査による定期検診を受けることをお勧めします。大腸内視鏡検査の適切な間隔は、大腸がんリスクの要因によって異なりますので、一度消化器専門医に相談されるとよいと思います。

内視鏡センター（消化器内科）を受診しましょう

当センターは、主に胃がん、大腸がん、消化性潰瘍、ピロリ菌感染症、食道がん、胆石、胆道がん、肝臓がんなどの消化器疾患、肺がんなどの呼吸器疾患の治療を実施しています。

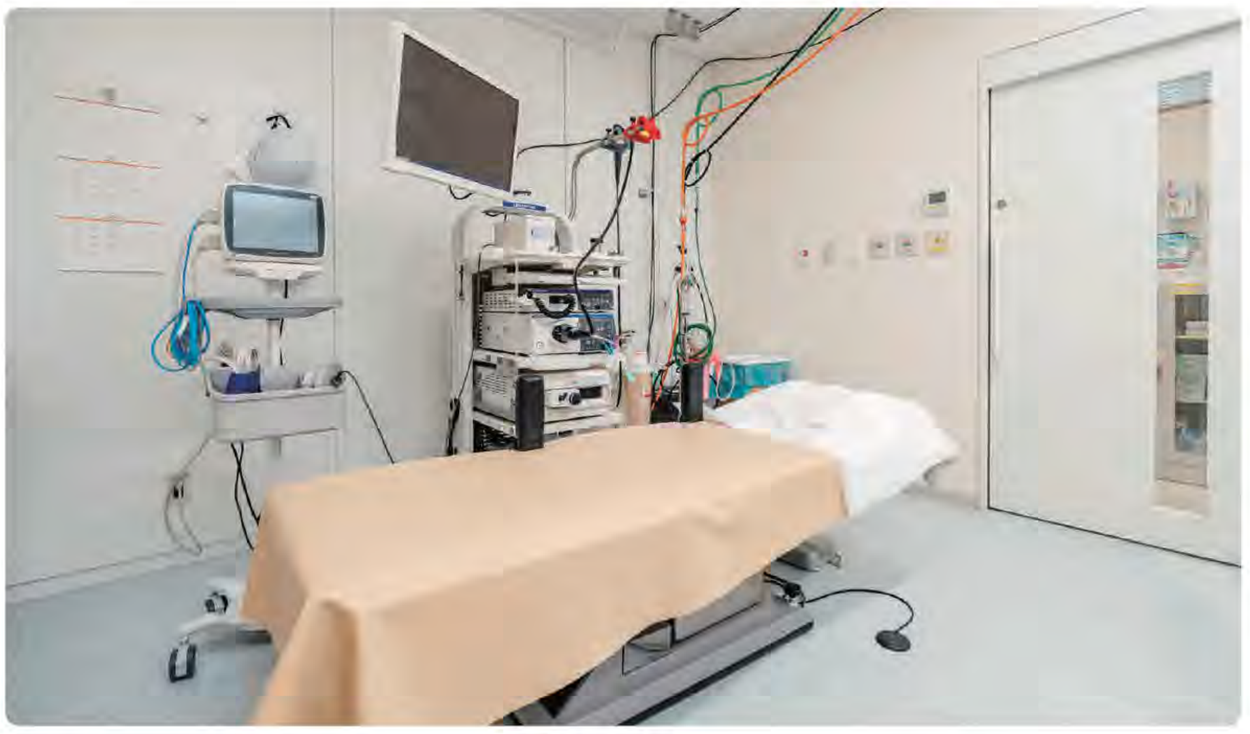
また須高医師会と連携をとり、7年前から須高地域の対策型胃内視鏡検診を実施しています。この検診は早期胃がんの予防医療及び早期治療に繋がり、かつ須高地域のがん予防対策の一端を担っています。

また人間ドックの上部内視鏡検査においても、丁寧な観察により早期治療につなげています。

大腸内視鏡検査のご案内

がんで亡くなる方は年々増加傾向です。部位別にみると大腸がんは、男性では2位、女性では1位です。しかし、大腸がんは早期発見でほぼ完治が期待できます。40歳以上で、大腸がんのご家族がいる方や、脂肪分の多い（肉類・加工品など）食事を好まれる方などは、大腸内視鏡検査を受けることをお勧めします。

当センターの大腸内視鏡検査は、お腹の張らない二酸化炭素を使用しています。ご希望により静脈麻酔を使用することも可能です。眠った状態で行えるため、苦痛を軽減しながら検査を受けることができます。



お問合せ

地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立信州医療センター 内視鏡センター

〒382-8577 長野県須坂市大字須坂1332

電 話 **026-246-5544** 受付 13:00～16:30平日のみ

長野県立信州医療センター《 外来診療担当医表 》

○午前の受付時間は8時30分～11時30分（自動受付機は7時30分～）
○午後の受付時間は各診療科、曜日により異なりますので、外来担当表にてご確認ください。

（令和7年6月1日現在）

診療科			月	火	水	木	金
総合診療科			鈴木　一史 木畑　穣 荒木　太亮	加藤　修明 井田　真之	下平　和久 荒木　太亮	赤松　泰次 加藤　修明	荒木　太亮 交代制
内科	呼吸器感染症	午前	小坂　充	山﨑　善隆	村元　美帆	山﨑　善隆	小坂　充（1·3週） 久保 惠嗣（2·4週）
		午後		小坂　充（3週）			
	消化器内科	午前	下平　和久	赤松　泰次	石黒　翔子	下平　和久	宮島　正行
		午後		木畑　穣		植原　啓之	
	循環器	午前	関　年雅	丸山　隆久	臼井　達也 （長野赤十字病院医師）	関　年雅	丸山　隆久
		午後	関　年雅			関　年雅	
	血液		植松　望武	植松 望武 小泉　正幸	小泉　正幸		小泉　正幸
	腎臓			小川　洋平			小川　洋平
	糖尿病/生活習慣病		小林　永幸			小林　永幸 関戸　恵子	小林　永幸
	肝臓					木村　岳史	
	漢方（終日）				布施 修（1·3週）		
	ペースメーカー外来					関 年雅/丸山 隆久 （交代制·13時30分～）	
	ピロリ菌専門外来		赤松 泰次（13時30分～）				
	貧血外来			小泉 正幸（14時～）			
	脳神経内科（午後）			加藤 修明（14時～）			
海外渡航者外来（午後）			山﨑 善隆（2·4週）				
外科（午前）	1診		古澤　徳彦	久保　直樹	深井　晴成	久保　直樹	古澤　徳彦
	2診			深井　晴成	寺田　克	寺田　克	深井　晴成
血管外科（午前）			長野中央病院医師				
呼吸器外科（午前）				坂口　幸治			坂口　幸治
形成外科					野口　美帆（午後） （予約のみ）	藤田　賢吾（午前） （予約のみ）	
整形外科（午前）	初診		井上　慶太	渡邊　憲弥	佐々木　純	三井　勝博 （股関節·膝関節専門）	上原 将志（脊椎）
	予約		三井　勝博	井上　慶太	渡邊　憲弥	佐々木　純	渡邊 憲弥（2·4週） 井上 慶太（1·3週）
脳神経外科（午前）			銭坂 英生（1·3·5週） （新患来院11時まで）	山岸　夢希	山岸　夢希		山岸　夢希
皮膚科（午前）						齊藤　奈那（予約のみ）	
小児科	初診（午前）		櫻井　文佳 （2·3·4·5週）	南　勇樹	櫻井　文佳	南　勇樹	交代制
	初診（午後） 13時半～16時				信大医師		信大医師
	予約（午後）		予防接種	1ヶ月健診	予防接種	小児循環器外来	予防接種
				7·8か月健診		発達心理外来（初診）	
			慢性外来	慢性外来	慢性外来	慢性外来	慢性外来
産科	午前		前田　宗久	前田　宗久	上條　恭佑	堀田 大輔	堀田 大輔
	午後		堀田　大輔	産後健診（交代制）			
婦人科	午前		堀田　大輔	上條　恭佑	堀田　大輔	春日 美智子	前田　宗久
			交代制		前田　宗久	上條　恭佑	交代制
	午後		春日　美智子	春日　美智子			
泌尿器科	午前		信大医師（交代制）	上野 陽子（1·3週）	宮下 大輔 （新患10時まで）	井川　靖彦 （予約のみ）	井川　靖彦 （予約のみ）
	午後					井川 靖彦（予約のみ）	
眼科	午前		山田　哲也	山田　哲也	山田　哲也	（手術）	山田　哲也
	午後		山田　哲也 （予約のみ）（13時30分～）	（手術）	山田　哲也 （検査·予約）（13時30分～）		山田　哲也 （予約）（13時30分～）
耳鼻咽喉科	午前		清水　勝利	清水　勝利 （新患紹介来院11時まで）	清水　勝利	清水　勝利 （新患紹介来院11時まで）	
	午後				清水　勝利 （14時30分～16時30分）		
麻酔科（ペインクリニック）（午前）			清水　俊行		清水　俊行（1·3週）		清水　俊行
漢方東洋医学外来（予約制）（午前）				水嶋　丈雄			
精神科（午後）						長峯　清英 （2·4週）（14時～）	

（予約の変更·ご相談先）長野県立信州医療センター·地域医療福祉連携室　TEL 026-246-6577（直通）
内容が変更になる可能性がありますので、最新の情報は次のQRコードの読み取りまたは当院ホームページでご確認ください。
（「信州医療センター 外来診療担当医表」で検索）

長野県立信州医療センター かがやき【第28号】令和7年6月発行
●発行者：長野県立信州医療センター［院長 竹内 敬昌］●編集者：長野県立信州医療センター広報委員会［委員長 山﨑 善隆］〒382-8577 須坂市大字須坂1332 TEL(026)245-1650 FAX(026)248-3240